

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**	**			**		

起票日	令和 4 年 9 月 2 日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和 4 年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	39,780 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支払回数	3 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	900,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	66,386 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	833,614 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件名	研究研修費 10/13～10/14 第84回全国都市問題会議参加負担金及び視察参加負担金及び振込手数料
----	---

摘要	
----	--

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和4年 9月15日
住 所			
名 称	立志会代表者 堀口 陽一		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人		債権者番号	0 - 000004464 - 00

領 住 所		領 氏 名	立志会代表者 堀口 陽一	収 印	
-------	--	-------	--------------	-----	---

上記の金額を領収しました。

支払済

令和4年 9月15日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001

負担行為番号

04-000676

伝票番号

呼出番号

04-009091

整理番号

04-000010-03



00452748

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和4年9月 2 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 立 志 会
代表者名 堀 口 陽 一 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	39,780円		
内 訳	10/13～10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議参加負担金及び視察参加負担金及び振込手数料		
支 払 先	(株) J T B		
予 算 科 目	研究研修費	交 付 残 額	833,614円
使 用 者 名	堀 口 陽 一、村 田 雅 利		

請求書発行日： 2022年9月8日



堀口 陽一 様

2022年10月13日～2022年10月14日
【第84回全国都市問題会議】

長崎支店

7850-0035

長崎市元船町14 -

橋本商会ビル別館

支店長：平尾 武敏

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。
2022年9月30日 までに、お支払いくださいますようお願いいたします。
なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

¥ 20, 500*

※軽減税率対象

番号	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
1	代行預り金 会議参加費	¥10,000	1	¥10,000		対象外
2	ご旅行代金（行政視察Bコース）	¥10,500	1	¥10,500		10%
合計				¥20,500		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥20,500	¥954	
(10%対象)				¥10,500	¥954	
(対象外)				¥10,000	¥0	
【振込先】 [REDACTED]		【お問合せ先】株式会社JTB長崎支店 TEL：095-824-2400				
振込手数料は、お客様負担でお願い致します。		担当者名： [REDACTED]				

請求書発行日： 2022年9月8日

感謝のそばに、いつも。

株式会社JTB

7850-0035

橋本商会ビル別館

支店長：平尾 武敏

【第84回全国都市問題会議】

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

※軽減税率対象

番号	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
1	代行預り金 会議参加費	¥10,000	1	¥10,000		対象外
2	ご旅行代金 (行政視察Dコース)	¥8,900	1	¥8,900		10%
合計				¥18,900		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥18,900	¥809	
(10%対象)				¥8,900	¥809	
(対象外)				¥10,000	¥0	
【振込先】		【お問合せ先】株式会社JTB長崎支店 TEL : 095-824-2400				
振込手数料は、お客様負担でお願い致します。		担当者名:				

だいしんキャッシュサービス
ご利用明細票

！本日はご利用いただきありがとうございます。
ご利用明細票をご確認のうえ、お持ち帰りください。
裏面もご覧ください。

お 取 扱 日		取扱金庫・店番・通番	
04 09 15		16300742-0141	
お 取 引 店		□ 座 番 号	
お取引金種		万円 3千円 1千円 500円 100円 20円 10円	
お取引内容		振 込 0円 3円 0円 0円	
手数料	¥380	お 取 引 金 額	
時 刻	15:07	¥39,400*	
説明コード		お 取 引 後 残 高	

お受取人

ご依頼人

イスミオツシキカイ リツシカイ ネリク
＼チ 4ラ9 様 0726331131

印紙税申告納 付に■■■■■■■■
税務署承認済

大阪信用金庫

No.0893

会議参加費 領収書

立志会

堀口 陽一 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会長 田上 富久



No.0894

会議参加費 領収書

立志会

村田 雅利 様

金 10,000円

但、「第84回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和4年10月13日

第84回全国都市問題会議実行委員会
会 長 田 上 富 久



支出命令書 (一般)

市長 **	副市長 **	教育長 **	部長 **	次長 **	課長 	課長補佐	係長	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 **	係長 	担当者 **	入力 	財政課合議 **	検収者	

起票日	令和4年9月5日	所 属	080100 市議会事務局
年度	令和4年度	会計	01 一般会計
科目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金額	63,780 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認	
支払回数	4 回	雇用保険料	0 円	源泉徴収確認	
負担行為額	900,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認	
支出命令済額	130,166 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認	
負担行為残額	769,834 円	請求書番号			
源泉支払内容	*****				

件名	旅費 10/12～10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議参加
----	--------------------------------------

摘要	
----	--

支払方法	21 現金払	支払希望日	令和4年 10月11日
住 所			
名 称	立志会代表者 堀口 陽一		
役職等/氏名			
銀行/口座			
口座名義人	債権者番号	0 - 000004464 - 00	

領 住 所			領 氏 名	立志会代表者 堀口 陽一	収 印	
-------	--	--	-------	--------------	-----	---

上記の金額を領収しました。

支払済

令和4年 10月11日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為 確認

001



負担行為番号

04-000676

呼出番号

伝票番号

04-009246

整理番号

04-000010-04



00453027

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和4年9月 2 日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名
代表者名

立志会
堀口 陽一 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり
政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	63,780円		
内 訳	10/12～10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議 参加旅費		
支 払 先	堀口 陽一		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	769,834円
使 用 者 名	堀口 陽一		

令和4年度

出張申請書

(出張)

会派名	立志会	氏名	堀口 陽一						
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日			帰庁 令和4年10月14日				
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1) 居留地路地裏、グラバースカイロード、グラバー園(長崎市)							
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 450	円	円	円	円	円	円	
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線)				650				650	
伊丹空港 " (飛行機) 長崎空港		JAL2375便 (スーパー先特) 10,840						10,840	
" (長崎空港リムジンバス) 長崎駅前ターミナル				1,000	2泊 30,000	3日 3,500		34,500	
" (長崎空港リムジンバス) 長崎空港				1,000				1,000	
" (飛行機) 伊丹空港		JAL2378便 (スーパー先特) 15,240						15,240	
" (空港リムジンバス 伊丹空港線) なんば駅前				650				650	
難波 (南海本線) 泉大津		450						450	
(線)			10月13日・14日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。				計	63,780	
(線)									
(線)									

主管課用

令和4年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名		立志会		氏名		堀口 陽一		
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日		帰庁 令和4年10月14日				
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1) 居留地路地裏、グラバースカイロード、グラバー園(長崎市)						
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港	km	円 450	円	円 650	円	円	円	円 450
" (飛行機) 長崎空港		JAL2375便 (スーパー先特) 10,840						10,840
" (長崎空港リムジンバス) 長崎駅前ターミナル				1,000	2泊 30,000	3日 3,500		34,500
" (長崎空港リムジンバス) 長崎空港				1,000				1,000
" (飛行機) 伊丹空港		JAL2378便 (スーパー先特) 15,240						15,240
" (空港リムジンバス 伊丹空港線) なんば駅前 難波 (南海本線) 泉大津				650				650
		450						450
(線)								
(線)								
(線)								
右の金額領収いたしました。					金額			
令和 年 月 日					¥ 6 3 7 8 0			
泉大津市会計管理者 殿					職名 立志会 氏名 堀口 陽一			



□決 裁

■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日		令和4年11月7日			
差 出 名		立志会 堀口 陽一							
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限			
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付		令和4年11月7日			
件 名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合 議	
									
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査			
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
日 時：令和4年10月12日（水）～令和4年10月14日（金） 出張先：長崎県長崎市 出島メッセ長崎 目 的：第84回全国都市問題会議に参加									

会派代表

堀口



報 告 書

令和 4 年 1 1 月 7 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 立志会

出張者氏名 堀口 陽一



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日 時 令和4年10月13日(木)～10月14日(金)

2.出張先 第1日目 長崎県長崎市(出島メッセ長崎)
第2日目 同 上

3.目 的 第84回全国都市問題会議
テーマ 個性を活かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

4.行政視察 長崎さるく
歴史文化を生かしたまちの魅力視察Bコース
長崎の歴史

堀口

5.報告事項 別紙添付

所 見

今回の都市問題会議のテーマは、個性を活かして選ばれるまちづくりです、特に重要視されたキーワードが関係人口でした。

近年の人口急減・超高齢化という課題に対し、国と地方が一体となって取り組み各地域が特徴を活かして持続的な社会を創生することを目指して策定実施された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」はほとんどの地方自治体において、目標としていた定住人口の増加や定住人口の増加や減少レベルの鈍化を果たすことができなかった。

そうした状況において、国は「関係人口」という新たな概念を提起しました。

総務省では、「関係人口」とは移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉が「関係人口」だとしています。

この定義は、「関係人口」を新たな地域の担い手とすることにより、人口急減・超高齢化という課題への一定の対応を図ろうとする発想だと考えられます。

しかし、この「関係人口」という定義は極めて曖昧ではあるが、成功事例として、今回の講演の中で様々な内容が紹介されました。

中でも岐阜県飛騨市の事例が素晴らしい内容でした、まず 2017 年に飛騨市ファンクラブを設立し、2022 年 7 月現在、9900 人を突破しています。

入会金は無料ではありますが、様々な特典が受けられるように設定されています。特典の費用は市が負担していますが、その財源はすべてふるさと納税です。

ファンクラブ会員からのふるさと納税額は約 8 千万円が集まっていますが、特典はそのごく一部を還元している形です。

会員拡大は市職員が、手作り動画を作り SNS を駆使して発信し、知名度を上げる努力を重ねています。

このように、関係人口を作るといっても手探りの状況で正解がある訳ではなく、熱意を持って継続し続けた自治体が多く、関係人口を築いています。

このように、都市問題会議では様々な成功事例や、課題を解決した事例を紹介しているので、大変参考になるとともに本市においても様々な施策に対して熱意を持って、継続して取り組む重要性を強く感じました。

視察Bコース

長崎さるく～歴史文化を生かしたまちの魅力視察～

この視察コースについては、駅を中心とした「長崎の玄関口」のまちづくりに合わせて、いにしえより長崎の母屋として賑わってきた「まちなか」では、市民と協同した「まちぶらプロジェクト」が進んでいます。特徴的なのが「まちぶらプロジェクト認定制度」でこれはまちづくりに貢献度が大きい市民活動を市長が期待を込めて認定・応援するものです。

市長の応援をもらうことで、その活動が確実に長崎のためになるという安心感が生まれ、市民のやりがいづくりに大きく寄与しています。

この「まちぶらプロジェクトが生まれるキッカケとなったのが、市民協働による長崎さるくです。

さるくとは、長崎の言葉でぶらぶら歩くの意味です。まさしく、長崎のまちをぶらぶら歩くのが長崎さるくで、今回の視察のメインテーマです。

2006年に日本初となるまち歩き博覧会「長崎さるく博2006」が開催されました。

それまでの観光スタイルは、主に団体客を対象としてバスで観光地を巡るというものでしたが、時代は団体旅行から個人旅行へ、物見遊山から体験型へ、そして男性主体から女性主体へと変化しつつありました。今までのやり方では、観光スポットの説明に終始し、まちを語ることも良さを伝えることも不十分と捉え、長崎に来て戴いた観光客の方々に体験型の「まちあるき」で、まちそのものをパビリオンと見立て、古くから世界との「交流のまち」として栄えた建物や街並みを、訪れる人々に対して市民がガイドするというものです。

その結果として、1990年から毎年10万人ペースで落ち込んでいた観光客に歯止めがかかっただけでなく、回復に繋がっています。

このように、人々（観光客）が求めているものを察知して取り組むことによって、観光収入の回復とまちづくり、そしてにぎわい創出へと発展をとげました。

まちぶらプロジェクトは、本市においても十分に組み入れる要素があると実感した視察でした。

支出命令書 (一般)

市長	副市長	教育長	部長	次長	課長	課長補佐	係長	担当者
**	**	**	**	**				
会計管理者	会計課長	課長補佐	係長	担当者	入力	財政課合議	検収者	
		**		**		**		

起 票 日	令和 4 年 9 月 5 日	所 属	080100 市議会事務局
年 度	令和 4 年度	会 計	01 一般会計
科 目	款	01 議会費	
	項	01 議会費	
	目	01 議会費	
	事 業	040000 議会調査研究事業	
	節	18 負担金、補助及び交付金	
	細 節	90 その他	
	細々節	06 政務活動費	

金 額	63,780 円	所 得 税	0 円	タイムカード(出勤簿)確認
支 払 回 数	5 回	雇 用 保 険 料	0 円	源泉徴収確認
負 担 行 為 額	900,000 円	そ の 他	0 円	被服貸与台帳記載確認
支出命令済額	193,946 円	控除額合計	0 円	通勤経路及び金額確認
負担行為残額	706,054 円	請求書番号		
源泉支払内容	*****			

件 名	旅費 10/12～10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議参加
-----	--------------------------------------

摘 要	
-----	--

債 権 者 等	支 払 方 法	21 現金払	支 払 希 望 日	令和 4 年 10月 1 1 日
	住 所			
	名 称	立志会代表者 堀口 陽一		
	役職等/ 氏名			
	銀行 / 口座			
	口座名義人		債 権 者 番 号	0 - 000004464 - 00

領 収 氏 名	住所	領 収 印
立志会代表者 堀口 陽一		

上記の金額を領収しました。

支 払 済

令和 4 年 10月 1 1 日

泉大津市 会計管理者 あて

支出負担行為
確 認

001



負担行為番号

04-000676

呼出番号

伝票番号

04-009249

整理番号

04-000010-05



00453030

04 01 01-01-01 04-00-00 18-90-06

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

令和4年9月2日

泉大津市長
南 出 賢 一 様
(泉大津市議会議長経由)

会 派 名 立志会
代表者名 堀口 陽一 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交 付 請 求 額	63,780円		
内 訳	10/12～10/14 長崎県長崎市 第84回全国都市問題会議 参加旅費		
支 払 先	村田 雅利		
予 算 科 目	旅 費	交 付 残 額	706,054円
使 用 者 名	村田 雅利		

令和4年度

出張申請書

(出張)

会派名	立志会	氏名	村田 雅利					
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日			帰庁 令和4年10月14日			
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1) 長崎市恐竜博物館、軍艦島資料館(長崎市)						
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加						
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円
難波		450						450
なんば駅前 (空港リムジンバス 伊丹空港線)				650				650
伊丹空港								
" (飛行機)		JAL2375便 (スーパー先特)						
長崎空港		10,840						10,840
" (長崎空港リムジンバス)				1,000	2泊 30,000	3日 3,500		34,500
長崎駅前ターミナル								
" (長崎空港リムジンバス)				1,000				1,000
長崎空港								
" (飛行機)		JAL2378便 (スーパー先特)						
伊丹空港		15,240						15,240
" (空港リムジンバス 伊丹空港線)				650				650
なんば駅前								
難波								
(南海本線)								
泉大津		450						450
(線)								
(線)								
(線)								
10月13日・14日の日当については、泉大津市職員旅費条例第23条及び同条例施行規則第4条の例により支給しない。								計 63,780

主管課用

令和4年度

領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名		立志会		氏名		村田 雅利			
出発・帰庁年月日		出発 令和4年10月12日		帰庁 令和4年10月14日					
出張先(順路)		出島メッセ長崎(長崎県長崎市尾上町4-1) 長崎市恐竜博物館、軍艦島資料館(長崎市)							
目的及び用件		第84回全国都市問題会議に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津 (南海本線) 難波 (空港リムジンバス 伊丹空港線) 伊丹空港	km	円 450	円	円 650	円	円	円	円 450	
" (飛行機) 長崎空港		JAL2375便 (スーパー先特) 10,840						10,840	
" (長崎空港リムジンバス) 長崎駅前ターミナル				1,000	2泊 30,000	3日 3,500		34,500	
" (長崎空港リムジンバス) 長崎空港				1,000				1,000	
" (飛行機) 伊丹空港		JAL2378便 (スーパー先特) 15,240						15,240	
" (空港リムジンバス 伊丹空港線) 難波 (南海本線) 泉大津				650				650	
" (南海本線) 泉大津		450						450	
" (線)									
" (線)									
" (線)									
右の金額領収いたしました。					金額	¥	63780	円	
令和 年 月 日					職名	立志会			
泉大津市会計管理者 殿					氏名	村田 雅利			



□決 裁 ■供 覧

受 発 記 号 ・ 番 号				収受年月日	令和4年11月7日			
差 出 名		立志会 村田 雅利						
あ て 名		泉大津市議会議長				提出期限		
収 受 文 書 の 記 号				収受文書の日付	令和4年11月2日			
件 名		報告書						
議長		副議長		事務局長		次長		合 議
								
主 管	次長補佐	議事調査係長		庶務係長		主査		
								
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項								
日 時：令和4年10月12日（水）～令和4年10月14日（金） 出張先：長崎県長崎市 出島メッセ長崎 目 的：第84回全国都市問題会議に参加								

会派代表



報 告 書

令和 4年11月 2日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 立志会

出張者氏名 村田 雅利



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1.日 時 令和4年10月13日(木)～10月14日(金)

2.出張先 第1日目 長崎県長崎市(出島メッセ長崎)
第2日目 同 上

3.目 的 第84回全国都市問題会議
テーマ 個性を活かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

4行政視察 白亜紀から近代文化まで新しい賑わい創出Dコース 村田

5.報告事項 別紙添付

所 見

第 84 回全国都市問題会議のテーマは、個性を活かして選ばれるまちづくりです、キーワードが関係人口という言葉です。

定住促進が難しいと判断した国の方向転換から関係人口が生み出されたと考えられます。

人口急減・超高齢化という課題に対し、国と地方が一体となって取り組み各地域が特徴を活かして持続的な社会を創生することを目指して策定実施された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」はほとんどの地方自治体において、目標としていた定住人口の増加や定住人口の増加や減少レベルの鈍化を果たすことができなかった。

そうした状況において、国は「関係人口」という新たな概念を提起しました。総務省では、「関係人口」とは移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉が「関係人口」だとしています。

この定義は、「関係人口」を新たな地域の担い手とすることにより、人口急減・超高齢化という課題への一定の対応を図ろうとする発想だと考えられます。

しかし、この「関係人口」という定義は極めて曖昧ではあるが、成

功事例として、今回の講演の中で様々な内容が紹介されました。

中でも岐阜県飛騨市の事例が素晴らしい内容でした、まず 2017 年に飛騨市ファンクラブを設立し、2022 年 7 月現在、9900 人を突破しています。

入会金は無料ではありますが、様々な特典が受けられるように設定されています。特典の費用は市が負担していますが、その財源はすべてふるさと納税です。

ファンクラブ会員からのふるさと納税額は約 8 千万円が集まっていますが、特典はそのごく一部を還元している形です。

会員拡大は市職員が、手作り動画を作り SNS を駆使して発信し、知名度を上げる努力を重ねています。

このように、関係人口を作るといっても手探りの状況で正解がある訳ではなく、熱意を持って継続し続けた自治体が多くの関係人口を築いています。

このように、都市問題会議では様々な成功事例や、課題を解決した事例を紹介しているので、大変参考になるとともに本市においても様々な施策に対して熱意を持って、継続して取り組む重要性を強く感じました。

視察 D コース

長崎の歴史 白亜紀から近代文化まで新しい賑わい 創出

この視察コースについては、長崎市の賑わいを創出するために、知恵を絞って何とかしようとする姿勢がみうけられます。

まず、長崎市内で恐竜の化石が見つかったのを、きっかけに長崎市恐竜博物館を建設し、同敷地内に軍艦島資料館を建設して軍艦島の歴史を展示するというものでした。

また、建設立地としては、海を眺めることができる最高のロケーションです、しかもその場所から軍艦島が見えるという観光効果的な背景があります。

このように、一見何も無かったような場所から観光資源を生み出す、知恵を絞った取り組みは本市とも合致する内容で、発想の転換を図れば観光資源は生み出せるということを、学べる視察となりました。